

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」

視点１ 行政との連携や働きかけ

- ・留守番電話の導入（令和３年１０月～）
- ・休日、夜間における緊急連絡の対応（保護者→役場→学校教育課→学校）
- ・教育行政に関する要望書の提出（人的配置や予算関係等について）
- ・スクール・サポート・スタッフ、学校サポーターの配置
- ・部活動終了時刻の町内統一での見直しと防災無線の活用

視点２ 自校での取組

- ・教職員の意識改革（超過勤務時間の周知、自己目標の設定、教員評価を活用した面談、超過勤務４０時間超の時点での面談等）
- ・「働き方改革推進委員会」の設置
- ・勤務時間管理のリーダー・サブリーダーの育成
- ・各種会議の週時程への位置付け（運営委員会、学年部会、生徒指導部会、特別支援部会）
- ・日課表の見直し（水曜日清掃なし）
- ・学期末の事務処理日の設定
- ・「生徒指導ノート」における情報の共有化
- ・校務分掌の平準化
- ・学校行事の見直し（体育祭、文化祭等の半日開催）
- ・通知票の簡略化（所見等の枠の縮小、押印等の廃止）
- ・指導案の簡略化
- ・定時退勤日（リフレッシュデー）の設定や出張時における直帰の推進
- ・会議、研修の改善（ペーパーレス、タブレットの活用、時間厳守、１時間以内等）
- ・部活動の活動時間の縮小
- ・生徒下校完了後１時間での退勤の呼びかけ
- ・生徒情報、教材のデータベース化
- ・学校評価におけるアンケートの効率化（保護者：マチコミ活用）
- ・年休が取りやすい職員室の雰囲気づくり

視点３ 次年度に取り組みたいテーマ

- ・２学期制導入に向けての検討
- ・夏休みにおける外部からの作品募集の検討
- ・部活動指導の軽減に向けての検討（複数顧問による指導日の分担等）
- ・部活動数の適正化